



ら しん ばん
羅 針 盤

2021年 7月 21日 第10号

魚住東中学校 校長室から

こころざし

志 あるものは 事ついに成る

校長 赤松 弘一



令和3年度 | 学期終業式 講話

今日7月21日から、東京オリンピックの一部の競技では予選が始まっています。開会式は23日そして閉会は8月8日です。新型コロナウイルスの感染が拡大する中で始まったものの、この国の安全や人々の健康が守られるのか心配です。心からオリンピックを祝福し楽しめないのが残念ですが、すべての選手が力を出し切って、無事に終了してほしいと思います。

そして8月24日からはパラリンピックが始まります。様々な障がいのある選手たちがひたむきにスポーツに向き合う姿は、私たちの生き方にきっと何らかの影響を与えることでしょう。パラリンピックなどの障がい者スポーツを見たとき、私は障がいを乗り越えたその技術の素晴らしさもさることながら、障がいがありながらも前を向き、スポーツで自己実現しようとして立ち上がった選手たちの姿に人間の無限の可能性を感じ、気高さに心が震えます。そして常人には到底考えられない技やスピードは、それを得るために選手がどれほどつらい練習に耐えて繰り返してきたのかを想像させてくれます。

勝ち負けを超えて、きっと私たちはその選手たちが挫折を乗り越えた精神力と積み重ねた努力、そして彼らを支えてきた素晴らしい人の存在を思い、人間の素晴らしさ、誇り高さに感動するのではないのでしょうか。

オリンピックのアスリートたちは「夢があるから努力する」、そして「努力が夢を叶えてくれる」それを本当に知っている人たちです。「挑戦する前から負けることを怖がり、傷つくことを怖れる」そんな生き方をしていないか、自分を見つめなおしたいと思います。

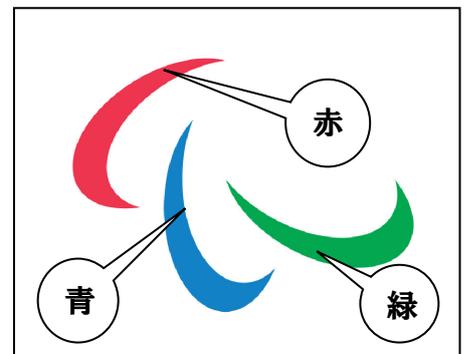
素晴らしい選手たちが教えてくれるのは、**障害がある無しに関わらず、志と努力する才能がなければ、そして追いかける夢がなければ何事も成し得ない**ということです。

最後にマーク・トゥエインというアメリカの小説家の言葉を紹介します。

「今から20年後、あなたはやったことよりも、やらなかったことに失望する。」

20年後と言わず、夏休みの終わりに後悔することが無いように、1日1日を大切に、手ごたえのある夏休みを過ごしてください。そしてコロナウイルス感染や熱中症をしっかりと予防して元気に2学期を迎えてください。

裏面に東播総体の結果を載せています。



パラリンピックの大会旗の3つの色は 心(スピリット)・肉体(ボディ)・魂(マインド)を表しています